日本キリスト教団 **東金教会〔４０〕**

2020年１０月４日 聖霊降臨節第１９主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖　　句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	宮中	中里
奏楽	中	谷
受付	阿波	村
案内	中	田
名札係	藤	村
礼拝感謝祈祷	中	本
〃　〃	澤	

前奏	中	里
讃美歌６２	一	同
信仰告白	〃	
交読文３８	司・会	衆
主の祈り５６４	一	同
聖書	司会者	

〈マルコ福音書４章３５節～４１節〉

祈祷	宮	中
新聖歌４５１	一	同
み言葉の伝え	中	村

〈突風を支配する神〉

讃美歌２８０	一	同
聖餐式　配餐者……	森	川
	藤	本
祈祷者……	土	屋
	戸	波
讃美歌４９４	一	同
献金		
礼拝感謝	中	村
〃　〃	澤	本
報告５４１	宮	中
頌栄	一	同
祝祷(派遣)新聖歌５８	中	村
後奏	聖歌隊	

【集会案内】

聖研祈祷会　１０月７日(水)午後７時半～
早天祈祷会　7:00～メーヤー館(除・木/日/祭日)
聖歌練習　本日礼拝後
聖書輪読会　１０月１１日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷　１０月１１日(日)10:25-10:30

【報告】

☆９月の献金報告が週報棚に入っております。御覧下さい。
☆次週１０月１１日は神学校日です。第二献金が予定されております。お覚え下さい。
☆幼稚園新年度願書配布が１０月９日(金)よりなされます。幼児教育はキリスト教保育として神さまから託された業であり私たちの教会にとっては保育園、幼稚園、そして教会学校教育と続く流れは聖書の神から託された無くてならない大切な業です。この業がいよいよ用いられますようご加祷宜しくお願い致します。
☆星野富広カレンダー11月15日が〆切りです
※礼拝の持ち方についてのお願い
アーメン頌の讃美は最前列に座られる方は講壇を向いて起立して讃美しても可です。それ以外の方は最後まで座ったままで讃美して下さい。
※千葉支区祈りのカレンダー（掲示板）
今週は千葉　教会(岸　　師)が対象教会です。お祈り下さい。
※マルコ福音書連続講解説教のCD希望者は牧師まで申出下さい。
※安延　　兄主催の「東金広報せんりゅう大会」ではせんりゅうの応募をもとめています。応募期限は10月20日(火)、テーマは「文化」「食」から選択してください。詳しくは掲示板を御覧下さい。

【定期長老会報告】9/13日分続き

議事…①青年会クリスマス関連催しの件…予定11/29礼拝後　②牧師招聘委員会報告--井上　委員長より牧師候補者履歴書提示と経過報告を受ける。③敬老会司会者を足立長老に委託　④教会・(幼・保)園行事報告［9/19(幼・保)園運動会　9/20敬老会　9/25分区牧師会--於・九十九里教会　10/1日 第１３１回教会創立記念日　10/4教会総員礼拝日　11/3バザー　但し外部に案内せず規模を縮小して挙行］　⑤12/24日の燭火礼拝はコロナ蔓延を注意しつつ挙行

【１０月４日～１０日の誕生者】

○10/5長野　兄　○10/6阿部　姉
※互いに主に繋がる枝として祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(9/27)	13	30	43
聖研祈祷会(9/30)	3	1	4
聖書輪読会(9/27)	2	2	4
教会学校 (9/27)	2	6	8

早天祈祷会			
日	男	女	計
9/28	1	2	3
9/29	1	1	2
9/30	1	1	2
10/2	1	1	2
10/3	2	2	4

主日礼拝献金(９/27)……３７,０８４円
教会学校献金(９/27)……５,９５０円

【今日のメッセージ】

題　〈突風を支配する神〉
聖　書　マルコ福音書4:３５～４１
1・向こう岸へ

2・未だ信じないのか

3・信仰の射程

【次週(１０月１１日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈ゲラサ人の地〉
聖　　書　マルコ福音書５：１～２０
交　読　文３９
讃　美　歌７０番　２３９番
新　聖　歌１８５番

【次週(10月11日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	… 中	村上
司式者	… 井	村
奏楽者	… 中	井
受付者	… 今	本
案内者	… 藤	川
名札当番	… 森	谷
礼拝感謝祈祷	… 阿	部
〃　〃	… 岡	村
csお話し	… 中	本
会堂清掃者	… 藤	村
〃　〃	… 中	部
花係	… 岡	波
看板書き	… 戸	波

【聖書から】

神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり…。
マルコによる福音書四章三〇～三二節

主は種の話しをここでもすすめる。先に蒔かれた種の地にどのようにして根づくかを語り、次に蒔かれた種の土中での成長を語り、此所では大きく外に向っての実を付ける様を語る。それは私たちの信仰の様に則して語るならば、最初のたとえは私たちの信仰の受け入れの様を、次に神への信頼の確かさの深みを、そして此所では我らの信仰の拡大を語る。そしてその拡大は一人の者としての信仰の拡大と共に群としての我らの拡大を見ておられる。

一人の者として、私たちは信仰の前進、聖霊の実の結実を期待する事がゆるされる。聖書の神へ私たちの信仰は沖を目指すべきである。それを信じ、私たちの失敗の経験は私たちの前進をさまたげる。時に私たちども同じ所をぐるぐる回るだけで少しも前進しないとするなら、それは私たちの誠実さの表れでなく神への信頼の欠如の表れである。懸命に前進することを願いつつ、神のお力を信頼しつつ生きる者になりたい。

次に我らの信仰の拡大は群としての我らの拡大、ひいては天にある神の国の拡大を目指すものであり、それは神を信じるが故の楽天主義ではない。この点において我らの信仰は悲観的、虚無的信仰に甘んじているのではなかろうか。悲観的と称して自らの信念に閉じこもり、神のお招きに心を開かず十分応えてはいないのではないか。神に生きる者としてもっと明るく、おおらかに神のお導きを信じるものとして生きたいのである。

個人としての拡大も群としての拡大も神のお力に依拠する。真の意味で神への期待と楽観をもって身に付ける信仰者となりたいものである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。